

地域に根ざし、充実した 留萌市立総合病院をめざして

平成13年新設病院オープン予定

留萌市立総合病院がこれまで地域で果たしてきた役割を更に充実させ、地域に一層根ざした病院とすること、そして利用する方にやさしく、医学・医療の発展に対応できる病院をめざしていきます。

留萌市立総合病院は、昭和9年に町立留萌病院として創設、昭和42年現在地に総合病院として建設されました。

また、医療の高度化、コンピュータなどの技術革新が進み、情報の処理量も増大しています。

病院機能の低下をまねく、今の場所での建て替えは困難であり、病院の改善が是非必要です。

時代の流れとともに、建物の老朽化、診療科目の変更、あたらしい設備、医療のニーズに対応していくための増改築を重ね、病院内の狭さ、案内順路、診療科、通路の複雑化など、「わかりにくさ」「不便」面が出てきています。

さらには、国道231号の拡幅事業が進み、平成12年ころまでに病院用地の提供が必要となりますが、このことで、駐車場、看護婦宿舎、リハビリテーション棟の移転が必要となり、せまい敷地が一層狭くなり、病院機能を著しく低下させます。



あたらしい病院は駐車場を十分確保でき、将来事情が変わっても十分対応できる敷地面積が必要です。

市の中心部には、このように広い面積を確保できる取得可能な用地は、残念ながら見当たらないのが現状です。市としては、用地取得の見通しがあり、療養環境の点で優れている東雲町2丁目を建設予定地としました。

船場町も検討対象のひとつでしたが、中心市街地の活性化のため、広く市民交流を行ったり、物流、

憩い、まちおこしなどのイベントにも活用できる多目的広場や交流施設などを整備することも留萌市にとつて是非必要ですので、船場町についてはこの趣旨に沿って都市計画手続を進めているところで

東雲町は、緑に囲まれた静かな場所であり、療養環境が良く、周辺に関連施設などの発展も期待できます。

現在は交通の便が良いとはいえませんが、今後、道路、上下水道やバス路線などを含めた総合的な

周辺整備を進め、地域の核となる病院づくりをめざしていきます。

また東雲町には、来年、近隣地に医療法人の老人保健施設がオープンする予定であり、市立病院との密接な連携も可能となります。

移転後は建物だけではなく、診療体制など内容の一層の充実を図りながら、信頼される病院づくりを努めたいと考えております。

現病院の跡地については、市民の皆さんのご意見を十分聞き、地域の活性化のための利用を考えていきます。

市立総合病院の移転改築にあたり、今後ともできる限り皆様のご意見・ご提案を参考にしたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

市立総合病院の記事について、今年12月まで掲載していく予定です。

留萌市立総合病院移転改築準備室

☎43・9511
(救護いい)
企画課広報係
☎42・1801
内線293番

医師からのワンポイント アドバイス

今回は、下肢静脈瘤について聞いてみました。

留萌市立総合病院
外科部長 中山一雄



下肢静脈瘤というのはどんなものですか？

「静脈瘤は静脈の弁の機能がこわれ、血液が逆流し、うっ血するた

めにおこる病気です。」「女性に多いですね。特に妊娠がきっかけになったり、長時間の立仕事をしている方は病気の進行を早め、症状が重くなります。」「症状はどのようなものですか？」

「初期の段階では、血管が太く見えるだけで症状はありませんが、病気の進行に伴い、下肢の重だる

さや痛みが出たり、寝ているときにこむら返りがひんぱんに起こるようになります。」「こむら返りというのはいれんです。」「簡単にいうと、ふくらはぎのけいれんです。」「更に進行すると皮膚炎を起こして皮膚が黒ずんだり、潰瘍ができて

ます。」「治療法は？」「命にかかわる事はほとんどありませんが、放っておけば徐々に進行してきます。」「下肢静脈瘤に有効な薬剤はありません。昔は手術が主でしたが少し変わってきています。」「圧迫療法は？」

「ごく軽症のとき、足のだるさを予防するのに効果がありますが、

永続性はありません。外科治療後に併用することが多いです。」「硬化療法は？」

「静脈硬化剤を静脈瘤の中に局所注射して弾力のある包帯で圧迫し、静脈の壁を癒着させ血液の逆流をなくす方法です。」「太い静脈に逆流があればその部分に1センチから1.5センチの切開をいれ、静脈を結ぶ手術を併用するとより効果的です。」「局所麻酔でも手術可能です。」「ほとんどの場合、入院しなくても治療可能な場合があり、家事や仕事に支障をきたさないで、女性には好評な治療法だと思います。」「手術療法は？」

「この方法は根治性が高く、現在でも重症の場合はこの治療法をします。」「ただし、1週間程度の入院が必要となります。」「最近では硬化療法とあわせ、より負担の少ない手術の工夫もしています。」「生活で気をつけることは？」「長時間の立ち仕事はさける。」「正座はなるべくしない。」「ハイヒールの靴ははかない。」「入浴などで疲労回復をはかる。」「寝るときは足を高くする。」「など考えてください。」「不明な点、悩んでいる方がいましたら迷わず市立病院の外科にご相談ください。」「

従来はもっぱら手術に限られ、悪くなった静脈を抜き取る手術をしていました。

「この方法は根治性が高く、現在でも重症の場合はこの治療法をします。」「ただし、1週間程度の入院が必要となります。」「最近では硬化療法とあわせ、より負担の少ない手術の工夫もしています。」「生活で気をつけることは？」「長時間の立ち仕事はさける。」「正座はなるべくしない。」「ハイヒールの靴ははかない。」「入浴などで疲労回復をはかる。」「寝るときは足を高くする。」「など考えてください。」「不明な点、悩んでいる方がいましたら迷わず市立病院の外科にご相談ください。」「